

Mizuho Daily Market Report

2026/1/14

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	158.90	159.14	+1.00	+2.49
EUR	1.1662	1.1642	▲0.0025	▲0.0047
AUD	0.6705	0.6682	▲0.0029	▲0.0056
SGD	1.2870	1.2887	+0.0029	+0.0082
CNY	6.9767	6.9777	+0.0046	▲0.0062
MYR	4.0552	4.0575	▲0.0060	+0.0103
THB	31.43	31.47	+0.23	+0.22
IDR	16873	16865	+32	+115
PHP	59.33	59.35	+0.08	+0.14
INR	90.28	90.19	+0.02	+0.01
VND	26273	26281	+0	+5

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.179%	+0.4 bp	+0.6 bp
日本(10年)	2.173%	+7.6 bp	+3.7 bp
ユーロ圏(10年)	2.847%	+0.6 bp	+0.5 bp
オーストラリア(5年)	4.292%	+0.7 bp	▲6.3 bp
シンガポール(5年)	1.805%	▲1.0 bp	▲10.1 bp
中国(5年)	1.633%	▲0.1 bp	▲1.4 bp
マレーシア(5年)	3.261%	+0.5 bp	+1.1 bp
タイ(5年)	1.301%	▲0.9 bp	+3.6 bp
インドネシア(5年)	5.605%	+1.5 bp	+11.9 bp
フィリピン(5年)	5.730%	▲9.8 bp	▲8.6 bp
インド(5年)	6.446%	+3.6 bp	+10.2 bp
ベトナム(5年)	3.547%	+0.8 bp	+29.6 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	49,191.99	▲0.8%	▲0.5%
N225(日本)	53,549.16	+3.1%	+2.0%
STOXX50(ユーロ圏)	6,029.83	+0.2%	+1.7%
ASX(オーストラリア)	5,460.99	▲0.1%	+0.2%
FTSTI(シンガポール)	4,807.13	+0.8%	+1.4%
SSEC(中国)	4,138.76	▲0.6%	+1.3%
SENSEX(インド)	83,627.69	▲0.3%	▲1.7%
JKSE(インドネシア)	8,948.30	+0.7%	+0.2%
KLSE(マレーシア)	1,708.20	+0.8%	+2.1%
PSE(フィリピン)	6,408.76	▲0.2%	+1.4%
SETI(タイ)	1,235.30	▲0.6%	▲3.1%
VNINDEX(ベトナム)	1,902.93	+1.4%	+4.8%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	306.64	+0.9%	+1.5%
金	4,586.52	▲0.2%	+2.0%
原油(WTI)	61.15	+2.8%	+1.1%
銅	13,254.23	▲0.1%	+0.1%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	156.10	—	159.80
EUR/USD	1.1470	—	1.1800
AUD/USD	0.6385	—	0.6780
USD/SGD	1.2770	—	1.3130
USD/CNY	6.9660	—	7.0440
USD/MYR	4.0350	—	4.0930
USD/THB	30.80	—	32.10
USD/IDR	16500	—	16950
USD/PHP	56.10	—	59.60
USD/INR	89.10	—	91.40
USD/VND	26,100	—	26,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:

Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は、158円丁度付近でオープン。片山財務相などからの円安けん制発言を意識した円買いやパウエルFRB議長の刑事訴追を懸念したドル売りは限定的となるなか、本邦衆議院の早期解散の思惑などから急伸する株式市場を横目にドル円は淡々と水準を切り上げ、158円台後半で海外時間に渡った。アジア通貨は総じて軟調推移。特に、インドネシアルピアが数日続けて下落となっており、低調なパフォーマンスとなっている。

欧州時間のドル円は、158円台後半でオープン。午後に米指標を控え、円安気味ながら小幅推移し、結局158円台後半でNYに渡った。NY市場のドル円は朝方に発表された米12月CPIが加速していなかった事を受け、ドル売りで反応し、158円台半ばまで下落。しかし、その後は海外時間で一部報道された「高市首相が衆院を解散する意向を固めた」が材料視され、159円台前半まで反発し、クローズ。

【金利】

昨日の米債利回りはほぼ変わらず。昨日公表の米12月CPIが市場予想通りの結果だったことで、今後のFRBによる利下げ見通しが維持されたことを受け、一時利回りが低下する場面も見られたが、引けにかけて反発。結局米10年債利回りは前日比概ね横ばいの4.179%で引けた。

【予想】

本日のドル円は引き続き円安圏での推移を予想。高市首相による衆議院解散報道における政治的な不透明感から、円が買われづらい状況は継続すると考えられる。但し、米国においては本日ウィリアムズNY連銀総裁による講演や、重要経済指標の公表を控えていることもあり、内容次第で相場のボラティリティが高まる可能性には注意が必要か。

【本日の予定】

(日本) 12月 マネーストックM2、M3
(日本) 国債入札(5Y)
(アジア) 11月 NZ 住宅建設許可
(アジア) 11月 豪 有効求人数
(アジア) 12月 インド 卸売物価
(アジア) 12月 中国 貿易収支
(アジア) 12月 韓国 輸出物価指数 / 輸入物価指数
(欧州) 独 国債入札(30Y)
(米国) 11月 PPI
(米国) 12月 中古住宅販売件数
(米国) 3Q 経常収支(確)
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) ウィリアムズ・NY連銀総裁講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を書信でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。